

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-71470(P2004-71470A)
 【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報2004-009
 【出願番号】特願2002-231887(P2002-231887)
 【国際特許分類第7版】

H 0 1 J 49/06
 G 0 1 N 27/62
 H 0 1 J 49/10

【F I】

H 0 1 J 49/06
 G 0 1 N 27/62 E
 G 0 1 N 27/62 L
 H 0 1 J 49/10

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月17日(2005.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

イオン化源として大気圧プラズマ又は高周波誘導結合プラズマを利用する質量分析装置であって、イオン偏向レンズ系を有するものにおいて、

前記イオン偏向レンズ系が、

それぞれが1つのアパチャーを有するとともに互いに対向する入射側プレート状電極及び出射側プレート状電極と、

前記入射側プレート状電極及び前記出射側プレート状電極の間に配置されている少なくとも1つの筒状電極とからなり、

前記入射側プレート状電極及び前記出射側プレート状電極が、それぞれのアパチャーの光軸が互いにずれるように配置され、

かつ前記筒状電極が、その中心軸が少なくとも前記入射側プレート状電極の光軸と互いにずれるように配置されていることを特徴とする分析装置。

【請求項2】

前記イオン偏向レンズ系が、インターフェース部とアイソレーションバルブの間に配置されている請求項1に記載の分析装置。

【請求項3】

前記入射側プレート状電極及び前記出射側プレート状電極に同じ電圧が印加されている請求項2に記載の分析装置。

【請求項4】

前記入射側プレート状電極及び前記出射側プレート状電極のそれぞれのアパチャーの光軸が、前記筒状電極の前記中心軸に対して、実質上同じ距離、反対方向に互いにずれている請求項3に記載の分析装置。

【請求項5】

イオンレンズの一部としてイオンガイドを有し、

前記イオン偏向レンズ系が、前記イオンガイドのイオンの入射側に配置されている請求項 1 に記載の分析装置。